

一般質問



市民サービス向上と機構改革について

高齢者支援と仙北市の対応 後期高齢者医療制度について

高久 昭二

市民サービス向上と機構改革について

質問 仙北市が誕生して二年半になるが、結果的に財政が厳しく、さらに長引く不況、農家の米価下落等により市民生活は一層厳しさを増している。

市長 合併後市長として仙北市を運営してきたが、現時点で振り返り計画通りの効果が発揮されているのか、具体的に進展しているのかをどのように評価しているのか伺いたい。

市長 合併せずに単独町村であれば財政状況がどうであったかということからの議論が必要だ。

合併した結果、現在の仙北市の財政が厳しい状態であるということは一概に言えないと思うし、決してそれが原因だとは考えていない。

合併効果については、今それに取り組んでおり、これから出てくる要素が多い。

例えば、組織のスリム化、職員の人員適正化に沿った人員削減に努めているのもその一つであると思っている。

質問 今後財政悪化が懸念され、限られた歳入の中で市政を運営していくには効率的な行政機構が望まれる。

本庁舎建設や位置等について二十年度中に一定の結論を出したいとしているが、今すぐにも見直しに着手すべきではないか。

私は東小学校を仙北市の仮本庁舎とし効率的な行政運営をすべきと考えるがどうか。

市長 東小学校も含めて全市の中で本庁舎としてあるべき位置、機能、規模等を踏まえて後に悔いを残さないように決定していきたい。

質問 角館武家屋敷伝建群位置に角館庁舎がある。今後、国の新規事業等に手を挙げ「火除け」復元を目指すには庁舎、旧図書館を解体する方向で検討着手すべきではないか。

市長 現在ある庁舎を解体して「火除け」を復元することは慎重に検討しなければならぬ。

私としては即これを実施するということには現在の仙北市の中では踏み切れないと思っている。

高齢者支援と仙北市の対応

質問 高齢者の入浴無料券が廃止になるが、高齢者の方々はこれに失望を感じ

ている。

温泉施設で人との交流を図り、健康増進につながるこの事業をさらに二十年度も継続できないか、また、同事業は高齢者の健康増進にあまり役立たず、これに変わる事業があるとすれば考えを聞きたい。

市長 入浴券を受け取り実際に利用された方は対象者全体の四分の一程度である。

これに変わるものとして他の老人施設に財源を回したほうがより効果的な施策が出来るということから二年前の合併時に決定している。

質問 貧困と格差社会の中で、失業、倒産、病気で苦しむ方々も少なからずいる。

各地域センターに、市職員ノウハウを活かした、暮らしの総合相談窓口の設置を検討できないか。

市長 二十年度の機構一部改革で統合と整理を行っていく。

市民サービスの中で窓口対応には不便を来たさないような配慮はしていく。

後期高齢者医療制度について

質問 同制度を理解している高齢者はまだまだ少ない。知った方々は年金から天引きされることに、不安と怒りの声が広がっている。

七十五歳以上の高齢者の方々は、年金だけが唯一の収入源であり命の糧である。

全国的に同制度の撤回を求める声広がっている中で、市長はどのように評価しているのか、反対、中止も視野に検討するよう関係機関に働きかける考えはないのか伺う。

市長 仙北市としてはこの制度の提示を受け、議会にも諮り、仙北市議会としてもこの制度に加入する決定の中で進めてきた。したがって撤回、脱退の予定はない。



「火除け」復元はいつ